

令和7年産水稻の西南暖地における早期栽培等の
10a 当たり収量の前年比見込み（7月15日現在）

**西南暖地等における水稻早期栽培の生産は良好。
今年の主食用米の生産見込み（対前年56万玄米トン増）
に向け順調なすべり出し**

10a 当たり収量の前年比見込みは、徳島県、宮崎県及び
鹿児島県の早期栽培で「やや上回る」
〔 全国の水稲の収穫量に占める西南暖地の
早期栽培等の割合は、令和6年産で 1.2% 〕

【予測結果の概要】

- 気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した。
- 令和7年産水稻の西南暖地の早期栽培及び沖縄県の第一期稲の10a 当たり収量の前年比見込みは、徳島県、宮崎県及び鹿児島県で「やや上回る」、高知県で「前年並み」、沖縄県で「やや下回る」となった。
- これは、西南暖地の早期栽培においては、気温、日照時間ともおおむね前年を上回って推移した一方、沖縄県の第一期稲において、4月から5月の気温が前年を下回って推移したためである。

表 令和7年産水稻の西南暖地における早期栽培等の
10a 当たり収量の前年比見込み（7月15日現在）

区 分	10a 当たり収量の前年比見込み
徳 島 （早期栽培）	やや上回る（対前年比105%～102%）
高 知 （早期栽培）	前年並み（対前年比101%～99%）
宮 崎 （早期栽培）	やや上回る（対前年比105%～102%）
鹿 児 島 （早期栽培）	やや上回る（対前年比105%～102%）
沖 縄 （第一期稲）	やや下回る（対前年比98%～95%）

（参考）全国の収穫量に占める西南暖地の早期栽培及び
沖縄県の第一期稲の割合（令和6年産）1.2%

- 西南暖地における早期栽培等の区域は、8月中旬頃までに刈取りがおおむね終了する早期栽培の面積割合がおおむね3割以上を占める徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の早期栽培並びに沖縄県の第一期稲としている。

- 10 a 当たり収量の前年比見込み（7月15日現在）は、その後の気象が、前年と同様に推移するとの前提ではなく、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。
- 10 a 当たり収量の前年比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10 a 当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10 a 当たり予想収量は、未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

◎ 累年データ

西南暖地における早期栽培等の 10 a 当たり収量及び対前年比の推移

区 分	平成27年産		28		29		30		令和元	
	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比
	kg		kg		kg		kg		kg	
徳 島	447	nc	478	107	477	100	463	97	451	97
高 知	459	nc	479	104	495	103	462	93	450	97
宮 崎	399	nc	454	114	486	107	469	97	450	96
鹿 児 島	383	nc	416	109	464	112	439	95	427	97
沖 縄	341	nc	348	102	350	101	362	103	330	91

区 分	2		3		4		5		6	
	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比	10a当たり 収 量	対前年比
	kg		kg		kg		kg		kg	
徳 島	443	98	443	100	463	105	439	95	447	102
高 知	442	98	463	105	476	103	475	100	479	101
宮 崎	459	102	476	104	490	103	479	98	461	96
鹿 児 島	431	101	451	105	453	100	459	101	437	95
沖 縄	359	109	349	97	337	97	345	102	360	104

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 10 a 当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。

令和元年まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に生産者等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅である。

令和2年以降： 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

3 「nc」は、計算不能であることを示している。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040296618&ext=xls>

【水稻の10a 当たり収量の前年比見込み及び水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y1

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF
データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries